



元気で安全・安心な兵庫づくり

2010 業 務 案 内



財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

Hyogo Construction Technology Center for Regional Development



設立目的

兵庫県及び県内の市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図るとともに、土地区画整理事業、まちづくり活動等の支援、流域下水道事業及び流域下水汚泥処理事業に係る維持管理等を行うことにより、より質の高い社会基盤づくり及びまちづくり並びに生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全に寄与することを目的とする。

シンボルマーク



Construction Technology Center for Regional Development のイニシャル「CTC」を上下のウェーブで囲んでいます。このウェーブは、南北を海に面した兵庫県の姿とともに“新しい風”と“新しい波”を表わし、兵庫県まちづくり技術センターの発展的な姿を象徴しています。

基本財産

5 億 5700 万円

設立年月日

平成 8 年 4 月 1 日

出捐者

兵庫県及び県内 29 市 12 町
(県内全市町)

ごあいさつ

財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

理事長 井上 俊廣



当センターは、建設事業の発注者支援機関として、各種技術研修の実施、設計・積算・工事監理の業務受託、土地区画整理事業など住民主体のまちづくりへの支援のほか、昨年 4 月、(財)兵庫県下水道公社と統合し、新たに流域下水道維持管理業務等を加え、「元気で安全安心な兵庫」の実現をめざし取り組んでいるところです。

これらの事業が円滑に遂行できておりますのも、県、市町並びに関係機関の皆様の暖かいご支援ご協力の賜であり、ここに厚く感謝申し上げます。

いま、社会基盤整備を取り巻く環境は非常に厳しいものがあり、県においては、新行財政構造改革推進方策（新行革プラン）に基づき投資事業が削減され、今まで以上に事業の重点化・効率化を図ることが求められています。また、社会基盤施設の老朽化に伴う適切な維持管理及び地球温暖化等に伴う自然災害に対する防災・減災対策が一層重要となっています。

当センターとしては、これらの建設行政課題を的確に踏まえながら、「安全・安心で活力あるまちづくりをめざして」、「美しい水環境と快適な生活の創造をめざして」、「建設・まちづくりの技術と情報の拠点をめざして」、「たくましい技術者の養成をめざして」の 4 つの柱のもと、持てる技術力を最大限に発揮しながら、一層幅広く質の高い業務展開を図り、発注者支援機関としての役割を着実に果たしていきたいと考えております。

今年度は、特に、台風 9 号の被害が大きかった千種川水系等の復旧・復興事業を積極的に支援するとともに、下水道施設監理で培った技術も活かし、地域の安全を図る排水機場等の設計・積算・工事監理業務への取り組みを拡大してまいります。

今後とも、県・市町との連携を密にし、役員、職員が一体となって社会基盤整備の企画・計画から維持管理までをトータルに支援すべく業務を推進してまいりますので、引き続き皆様のご指導を賜りますとともに、より一層ご活用をいただきますようお願い申し上げます。

平成 22 年 4 月

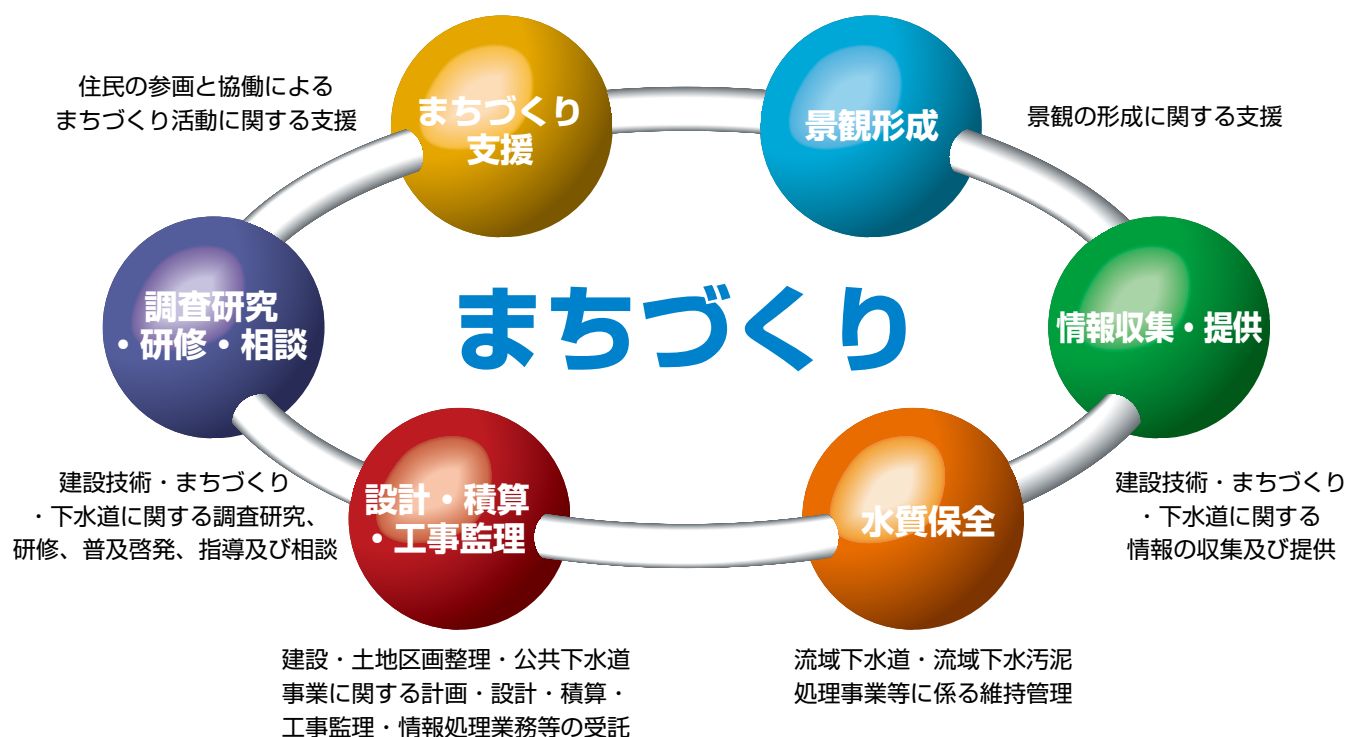
表紙写真

上 段：(国)178号 余部道路 油良高架橋

下段左：兵庫東流域下水汚泥広域処理場 4号焼却炉

下段右：西播都市計画事業 相生駅南土地区画整理事業

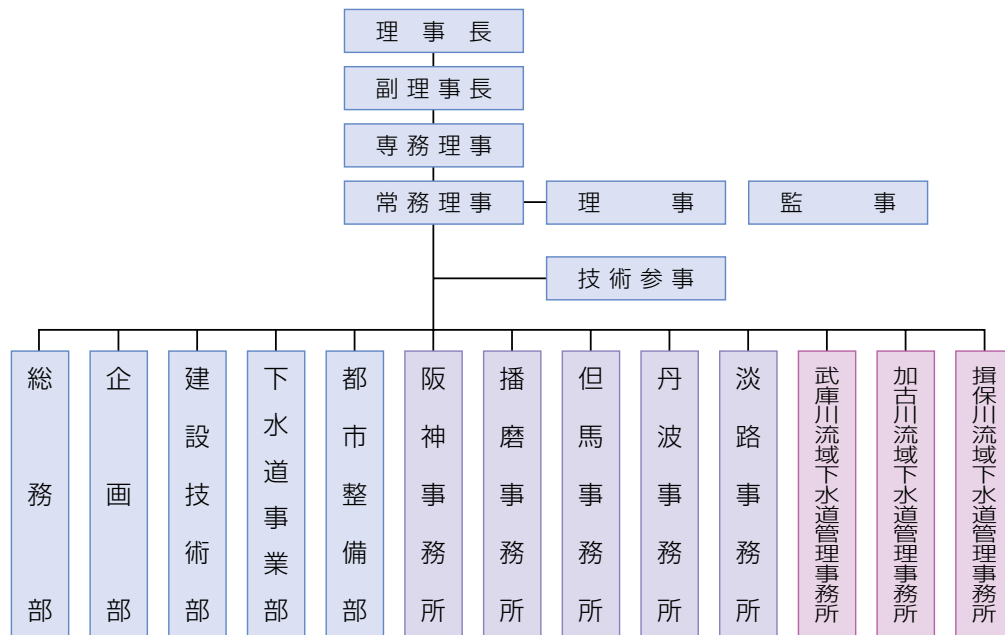
●センターの業務



●組織の沿革



●組織図



●役員名簿

理事長	井上 俊廣
副理事長	大西 一三
専務理事	松谷 清生
常務理事	中村 良孝
//	荒柴 敏夫
//	百々 順一
理事 (神戸市副市長)	石井 陽一
// (姫路市副市長)	山名 基夫
// (尼崎市副市長)	江川 隆生
// (西宮市市長)	河野 昌弘
// (洲本市副市長)	濱田 育孝
// (豊岡市副市長)	中川 茂
// (加古川市副市長)	中田 喜高
// (たつの市副市長)	松尾 和彦
// (小野市副市長)	小林 清豪
// (丹波市副市長)	永井 隆夫
// (猪名川町副町長)	西村 悟
監事 (上郡町副町長)	高橋 道夫
//	柏原藤一郎

(平成 22 年 6 月 25 日現在)

●技術顧問

氏名	職名	専門分野
足立 紀尚	(財)地域地盤環境研究所理事長(京都大学名誉教授)	トンネル工学、岩盤工学
加賀有津子	大阪大学大学院教授	地域・都市再生デザイン
小林 潔司	京都大学大学院教授	計画マネジメント
福島 徹	兵庫県立大学大学院教授	都市工学、地域システム分析
福田 知弘	大阪大学大学院准教授	環境デザイン、情報通信技術
村橋 正武	大阪工業大学教授	都市計画、地域計画
森川 英典	神戸大学大学院教授	アセットマネジメント、コンクリート工学

(50 音順)

●役職員数

区分	固有職員	兵庫県職員	市職員	県土地開発公社職員	土木嘱託員他	計
役員 (常勤)	4	3	0	0	0	7
総務部	4(1)	11	0	0	2	17(1)
企画部	8	2	0	0	2	12
建設技術部	9	11	0	2	2	24
下水道事業部	6	6	1	0	1	14
都市整備部	10	1	0	0	3	14
事務所	17	10	1	6	11	45
管理事務所	25	13	11	0	5	54
計	83(1)	57	13	8	26	187(1)

()内書は県への派遣職員

●職員の技術資格一覧

資格種別	人 数
技術士 (総合技術監理部門)	5
技術士 (建設部門)	6
技術士 (上下水道部門)	2
技術士補 (建設部門)	9
技術士補 (上下水道部門)	4
1 級土木施工管理技士	32
2 級土木施工管理技士	5
土地区画整理士	23
近畿地方公共工事発注者支援技術者Ⅰ	2
近畿地方公共工事発注者支援技術者Ⅱ	5
1 級建築士	2
2 級建築士	1
コンクリート診断士	1

資格種別	人 数
コンクリート技士	5
1 級造園施工管理技士	3
2 級造園施工管理技士	3
測量士	17
測量士補	12
近畿地方公共工事発注者支援技術者 (支援担当技術者)	2
第2種下水道技術検定	4
第3種下水道技術検定	19
2 級管工事施工管理技士	2
第2種電気主任技術者	3
第3種電気主任技術者	15
危険物取扱者	28
エネルギー管理員	23

●事業計画

当センターは、平成 22 年度、「安全・安心で活力あるまちづくりをめざして」「美しい水環境と快適な生活の創造をめざして」「建設・まちづくりの技術と情報の拠点をめざして」「たくましい技術者の養成をめざして」の 4 つを柱として、県・市町と連携し、大規模・特殊工事等に係る設計・積算・工事監理、橋梁長寿命化修繕計画の策定、土地区画整理事業をはじめとするまちづくりや景観形成事業を推進します。

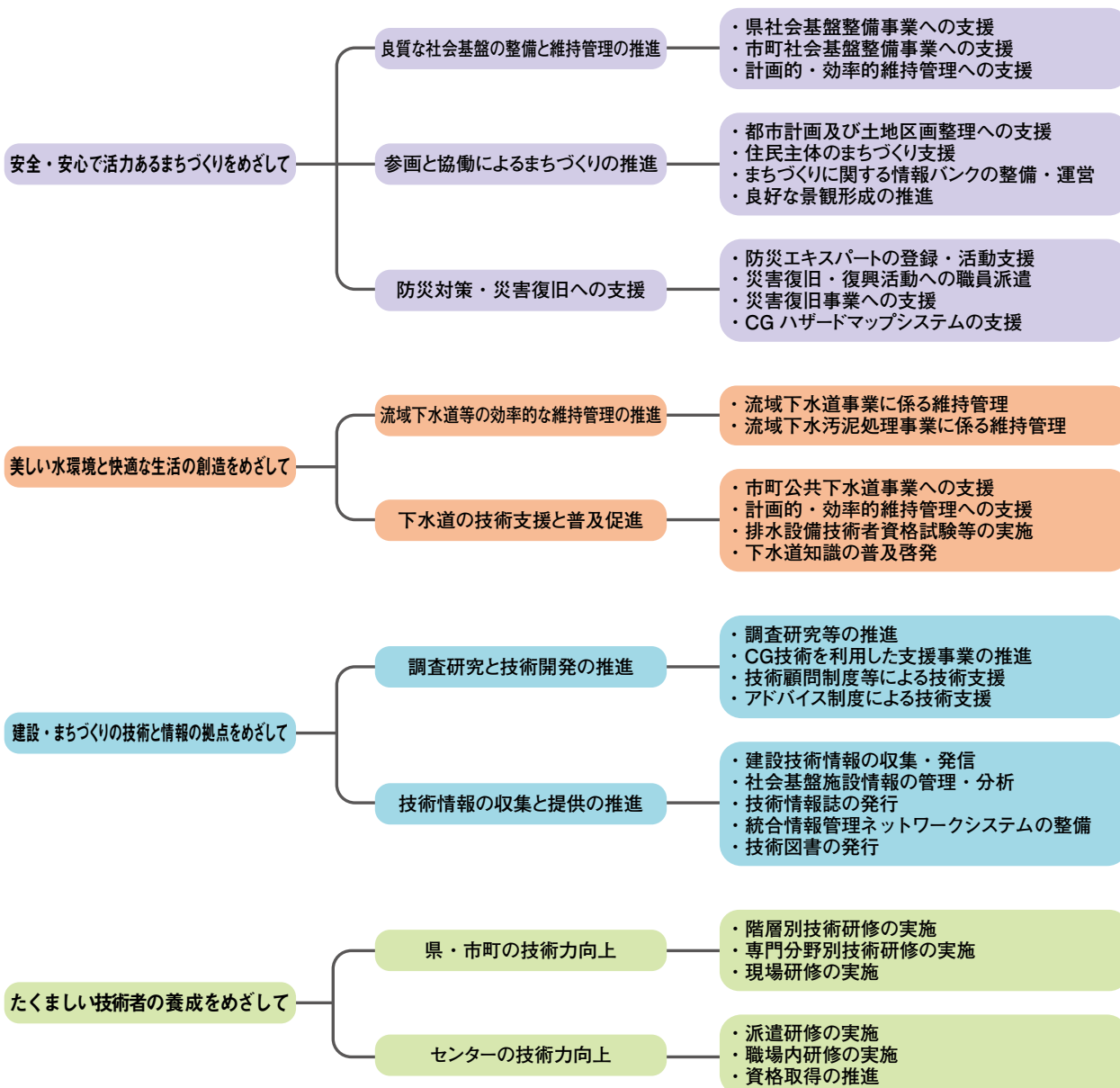
また、包括的民間委託を拡大し、流域下水道等の維持管理の効率性向上に取り組み、公共用水域の水質保

全等に寄与していきます。さらに、時代の要請に応じた社会基盤整備を推進していくため、所要の調査研究や、技術情報の収集・提供及び県・市町の技術職員を対象とした各種技術研修に取り組みます。

特に、昨年の台風 9 号に伴う災害復旧事業を積極的に支援するとともに、災害発生時の応急対応及び早期の災害復旧を的確に推進していくため、新たに災害復旧研修を計画します。また、(財)兵庫県下水道公社との統合のメリットを生かし、土木施設設備工事の設計・積算・工事監理業務への取り組みを拡大します。

●事業計画体系図

県・市町の建設技術の向上を図り、社会基盤整備の企画・計画から維持管理までをトータルに支援する。



技術管理規定や監督要領等を遵守し、的確に請負業者を監督します。

河 川



・工事名 (一) 加古川水系野間川 野間川 25 工区 (護岸工事)
 ・委託者 加東土木事務所
 ・積算・工事監理



・工事名 (一) 加古川水系野間川 野間川井堰改築工事
 (機械設備)
 ・委託者 加東土木事務所
 ・積算・工事監理

橋 梁



・工事名 東播磨南北道路 皿池 (第 15) 高架橋上部工工事
 ・委託者 加古川土木事務所
 ・積算・工事監理



・工事名 (二) 洲本川水系洲本川 洲本橋上部工工事
 ・委託者 洲本土木事務所
 ・積算・工事監理

トンネル



・工事名 (主) 篠山山南線 愛宕山トンネル建設工事
 ・委託者 丹波土木事務所
 ・積算・工事監理



・工事名 (国) 178号余部道路 油良・間室トンネル建設工事
 ・委託者 新温泉土木事務所
 ・積算・工事監理

砂 防



・工事名 (砂)三野畑川 砂防えん堤設置工事
・委託者 洲本土木事務所
・積算・工事監理



・工事名 鵜崎(3)地区 急傾斜地崩壊対策工事
・委託者 洲本土木事務所
・積算・工事監理

(2) 市町社会基盤整備事業への支援

県社会基盤整備事業と同様に、市町の実施する公共土木工事の設計、積算、工事監理業務等を受託するほか、事業の企画・計画から完了まで事業全般にわたり支援します。

また、市町の検査業務の一部を補完・支援する建設工事支援検査業務も受託します。

① 設計・積算・工事監理支援業務

最新の技術情報と豊富な経験により、公共工事の計画、設計の支援を行います。併せて、仕様書、設計書等の契約に必要な書類についての助言を行います。

公平公正の確保と関係法令を遵守し、兵庫県土木工事標準積算基準書に準拠した積算を行います。

技術管理規程や監督要領等を遵守し、発注者の補助者として工事監理を行い、必要に応じ、変更設計・積算についても、支援します。

これらの設計・積算・工事監理の一括支援を行う CM（コンストラクション・マネジメント）により、トータルコストの削減を図ることができます。

橋 梁



・工事名 (市)和田小新屋線 小新屋橋架替工事(その1)
・委託者 丹波市
・積算・工事監理



着手前 (沓座及び桁端部)

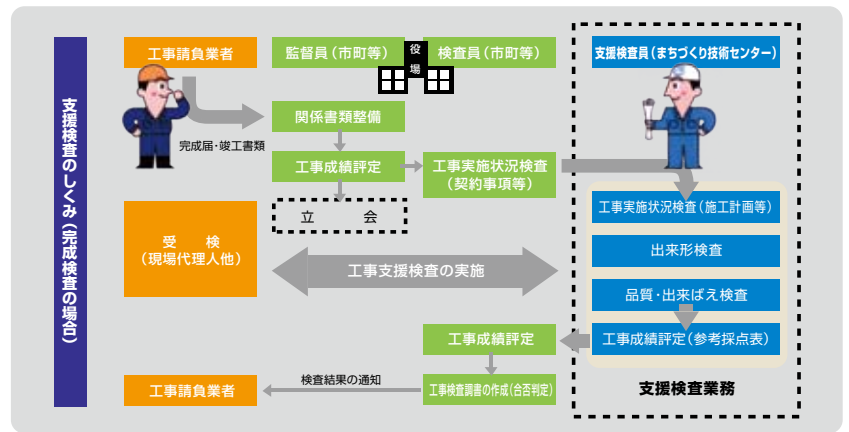


完 成

・工事名 (市)郡家市街地1号線 大川橋橋梁補修工事
・委託者 淡路市
・積算・工事監理

② 建設工事支援検査業務

工事のより適切な施工の確保、工事施工状況のより公平公正な評価を行うため、市町の検査業務の一部を補完・支援する業務を行います。道路、河川等の土木工事について、当センターの「支援検査員」が検査員（市町）、監督員並びに請負業者等の立会のもと、設計図書等に基づき、工事実施状況の検査及び現場での出来形・品質の検査を行うとともに、工事成績の参考評定を行います。

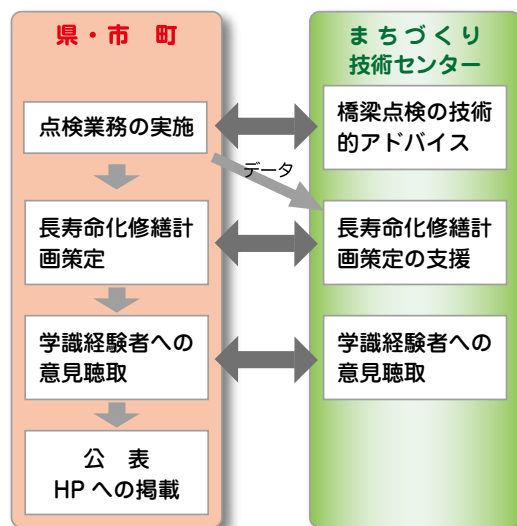


(3) 計画的・効率的維持管理への支援

県・市町の「橋梁長寿命化修繕計画」策定をはじめとする土木施設の計画的・効率的維持管理（アセットマネジメント）業務を支援します。

- ◆ 老朽化した橋梁の増大
- ◆ 行財政構造改革に伴う予算の削減

従来の対症療法的な修繕・架替えから脱却し、予防的な修繕・長寿命化へと政策転換を図る必要があります。



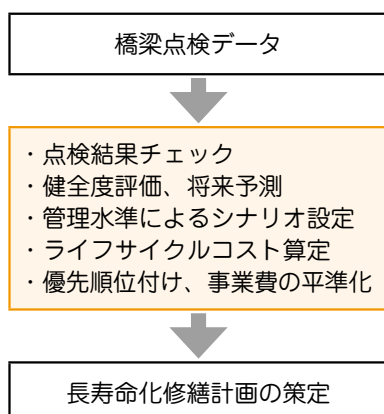
橋梁長寿命化修繕計画策定支援フロー図

- ・ 点検の実施方法等についてアドバイスします。
- ・ 点検結果の精査を支援します。
- ・ 橋梁点検講習会を実施します。



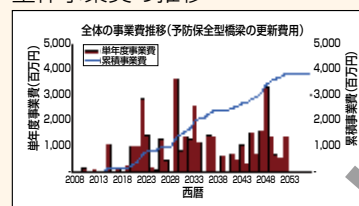
橋梁点検講習会状況

当センターの「橋梁マネジメントシステム」により、将来の健全度予測、事業費の平準化案の作成等を行います。

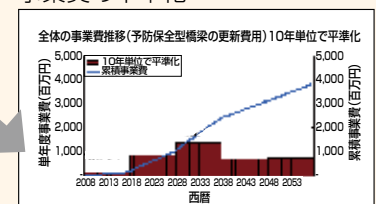


橋梁マネジメントシステム

全体事業費の推移



事業費の平準化



2 参画と協働によるまちづくりの推進

(1) 都市計画及び土地区画整理への支援

都市計画への支援、土地区画整理事業を中心とした各種市街地整備事業への支援など、各市町の特徴あるまちづくりの実現にむけた総合的な取り組みを展開しています。

都市計画

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、市町都市計画マスタープラン、市街化調整区域の土地利用計画、地区計画及び各種都市計画決定図書等を策定します。

また、計画的な市街地整備を図るため、社会資本整備総合交付金及び都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金）の整備計画策定、事後評価を行います。

●都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金）



●地区計画案の策定

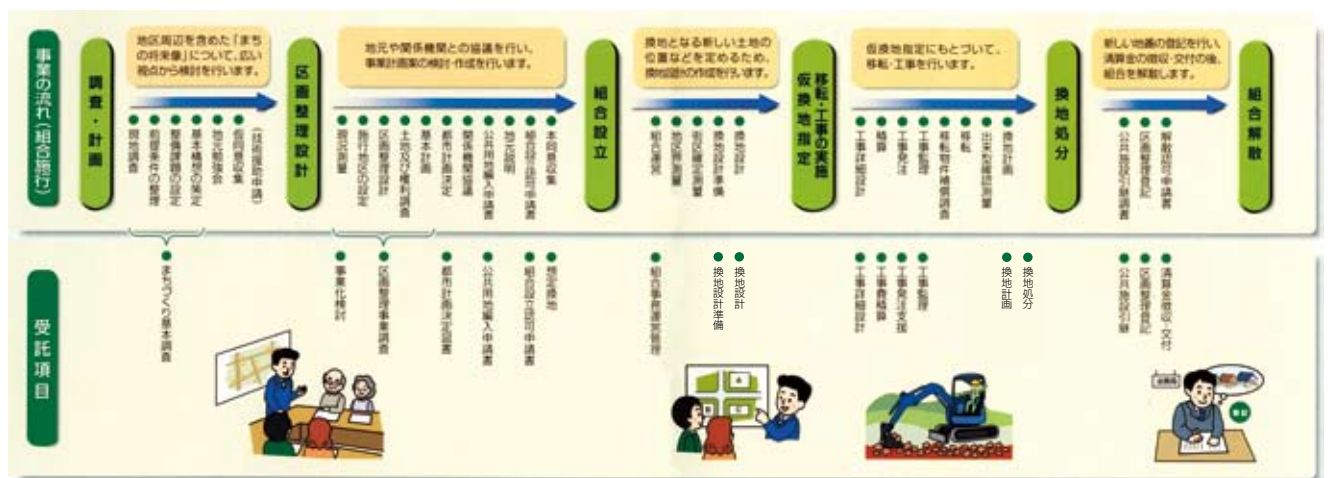


土地区画整理事業

市町及び土地区画整理組合等が行う土地区画整理事業を総合的にサポートするため、事業化のための調査・計画及び事業認可図書作成、土地の交換分合を行う換地設計、換地計画及び換地処分、事業運営のための工事関連図書作成及び運営事務補助等を行います。

また、土地区画整理事業が円滑に進むよう、土地区画整理事業についての説明会・勉強会に出席し、住民意向の反映や合意形成を促進するとともに、県・市町の関係部局との協議・調整も支援します。

当センターでは、土地区画整理事業を総合的に支援していきます。



住民との合意形成

基本構想の検討



仮換地指定に向けた役員会



整備された街並み

小野市王子南土地区画整理事業

施行前

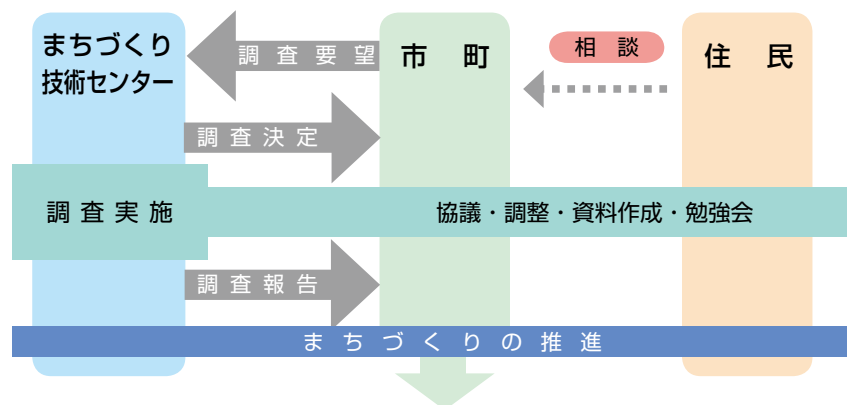


施行後



○市町まちづくり推進調査支援制度

土地区画整理事業等の円滑な事業化を推進するとともに、都市計画制度（規制・誘導）による良好なまちづくりの実現を支援します。本制度は初動期におけるまちづくりの推進に関わる調査を市町と共に実施します。



土地利用基本構想図

(2) 住民主体のまちづくり支援

阪神・淡路大震災被災地の12市町（被災当時の10市10町）での復興まちづくりを支援するとともに、まちづくりに関わる人材育成とまちづくりの普及啓発により、住民主体のまちづくりを支援します。

復興まちづくり支援事業

◆まちづくりアドバイザー派遣

復興まちづくりに取り組もうとする地区の住民団体が行う勉強会等にまちづくりの専門家を派遣し、専門的・技術的な情報提供や地区の課題整理等について助言し、まちづくり協議会設立等を支援します。

◆まちづくりコンサルタント派遣

復興まちづくりに取り組み、復興まちづくり計画（まちづくり構想、地区計画住民案等）を立案しようとする地区にまちづくりコンサルタントを派遣し、計画案の作成を支援します。

◆まちづくり活動助成

復興まちづくりに取り組むまちづくり協議会等の活動に係る経費を助成します。

人材育成と普及啓発

- 景観づくりやまちづくりに取り組む住民団体・行政担当者・専門家の情報交換：「景観まちづくりシンポジウム」
- まちづくり専門家と市町担当職員向け研修会：「景観まちづくり現地視察セミナー」

(3) まちづくりに関する情報バンクの整備・運営

まちづくりに関するさまざまな情報を収集・提供します。

●ウェブによるまちづくり情報の発信

(<http://www.hyogo-ctc.or.jp/machicen/>)

- ・まちづくり実施地区紹介
- ・まちづくり活動資料集
- まちづくり専門家バンクの管理・運営
- ライブラリーの運営（図書等の貸し出しを行っています）



第14回景観まちづくり視察セミナー

(4) 良好な景観形成の推進

良好な景観形成の推進を図るため、景観形成支援事業を実施します。

景観形成支援事業では、景観の形成に関する条例（景観条例）等により指定された「景観形成地区」、「景観形成重要建造物」等で行われる建築物等の修景行為を工事費の助成や専門家の派遣により支援します。

また、「景観形成地区」等やその予定地区において住民団体等により行われる良好な景観形成推進のための活動を専門家の派遣や活動経費の助成により支援します。

◆修景助成

- ・歴史的景観形成建築物修景助成
- ・一般建築物修景助成
- ・工作物等修景助成
(共同施設整備・屋外広告物の整備)
- ・景観形成重要建造物等修景助成 ほか

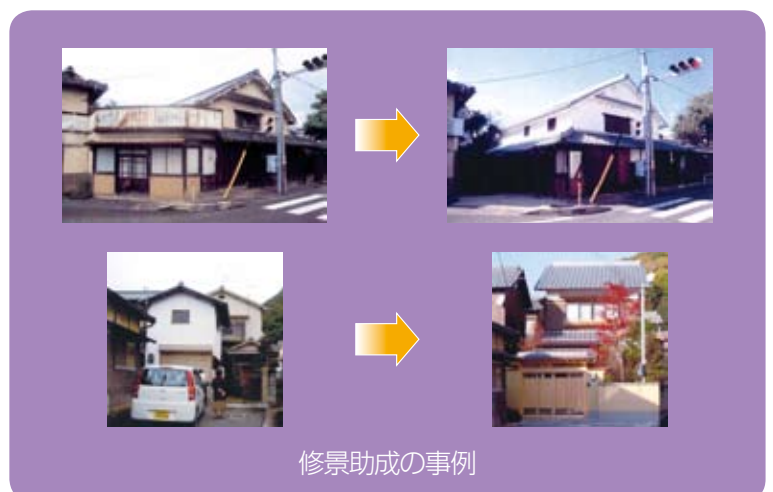
◆修景支援

- ・景観アドバイザー派遣
- ・景観計画策定等支援（コンサルタント派遣）

◆景観形成等活動助成

- ・景観形成等住民活動助成
- ・景観形成等推進員活動助成

◆近代住宅定期点検活動助成



修景助成の事例

3 防災対策・災害復旧への支援

(1) 防災エキスパートの登録・活動支援

兵庫県防災エキスパート登録制度の支援

災害時には、道路や河川など公共土木施設の被害状況等を迅速、的確に把握することが重要です。このため、大災害に備え、公共土木施設の整備や維持管理に長年携わってこられた県や市町職員のOBが、そのノウハウを活かしボランティアとして活動する「兵庫県防災エキスパート登録制度」を、当センターが事務局となって運営しています。

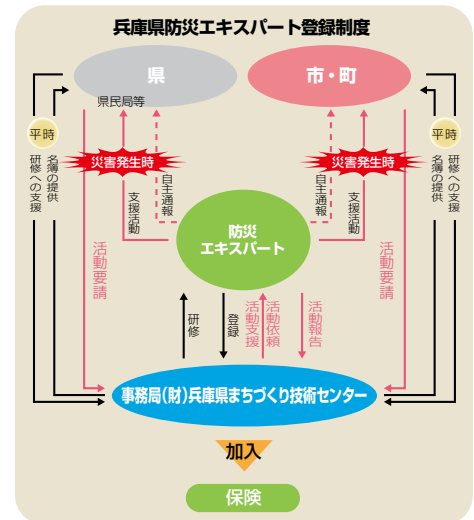
●防災エキスパート登録制度の活用

公共土木施設の管理者である県・市町は、事務局と締結する「防災エキスパートの活用に関する協定」に基づき、この制度を活用しています。

災害発生時、事務局に活動要請をしていたら、エキスパートへの活動依頼をはじめ派遣日時の調整などを行い、復旧活動を積極的に支援致します。

●防災エキスパートの登録状況 (平成22年4月現在)

出身団体	人数
国	3
県	362
市町	56
その他	2
合計	423



●平成21年台風9号における防災エキスパート活動状況



(2) 災害復旧・復興活動への職員派遣

災害復旧・復興に向け、被災箇所の調査や災害査定設計を支援するため、被災地へ職員を派遣します。また、全国建設技術センター等協議会に応援可能職員を登録し、要請があれば、県外の被災地に職員を派遣します。



災害復旧職員派遣活動状況

(3) 災害復旧事業への支援

災害復旧事業に係る積算、工事監理を支援します。

特に本年度は、昨年の台風9号に伴う災害復旧事業を積極的に支援します。



災害復旧事業 積算・工事監理支援

(4) CGハザードマップシステムの支援

県民の防災意識の向上を図り、災害時に県民がより的確に行動するための情報提供を行う「兵庫県CGハザードマップ」の保守・点検をはじめ、GISやCGといった技術を活用し、洪水、土砂災害、津波、高潮などの風水害による危険度（浸水想定区域、土砂災害警戒区域など）や避難に必要な情報などの掲載データの更新を行います。



CGハザードマップ
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>

美しい水環境と快適な生活の創造をめざして

流域下水道及び流域下水污泥処理事業に係る維持管理を行うとともに、市町下水道事業の計画、調査、設計及び施工監理を受託します。また、市町の水質・污泥検査業務を受託し、共同化により市町支援を行います。下水道排水設備工事責任技術者の資格試験及び更新講習も実施しています。

1 流域下水道等の効率的な維持管理の推進

(1) 流域下水道事業に係る維持管理

阪神・播磨地域の複数市町で広域的に下水道整備を行うことが効率的・経済的な区域で、特に水質保全が必要な重要水域である猪名川、武庫川、加古川及び揖保川の4流域において、県が行う流域下水道事業を支援し、浄化センター及び管渠等の維持管理を行っています。

① 猪名川流域下水道

原田処理区は、右岸第一幹線を始め、幹線管渠等の維持管理を行い、汚水処理は大阪府豊中市の原田処理場で行っています。

② 武庫川流域下水道

ア 上流処理区は、武庫川上流浄化センター、三田、神戸幹線管渠等の維持管理を行い、神戸市・西宮市・三田市の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

イ 下流処理区は武庫川下流浄化センター、南武中継ポンプ場等、武庫川幹線管渠等の維持管理を行い、尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

③ 加古川流域下水道

ア 上流処理区は、加古川上流浄化センター、王子中継ポンプ場等、神戸幹線管渠等の維持管理を行い、神戸市・西脇市・加西市・三木市・小野市・加東市の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

イ 下流処理区は、加古川下流浄化センター、稲美幹線管渠等の維持管理を行い、加古川市・高砂市・稲美町・播磨町の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

④ 揖保川流域下水道

揖保川処理区は、揖保川浄化センター、正條中継ポンプ場等、揖保川幹線管渠等の維持管理を行い、姫路市・たつの市・宍粟市・太子町の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

なお、これら5浄化センターでは、施設の運転管理等、個別に委託している業務等を、処理水質等の要求水準を満足する条件で民間の創意工夫を発揮させる性能発注方式により一括して発注する「包括的民間委託」方式を導入しています。

流域下水道事業計画箇所図



(2) 流域下水汚泥処理事業に係る維持管理

阪神・播磨地域における下水汚泥の処理・処分について、県が行う流域下水汚泥処理事業を支援し、スラッジセンター及び送泥管等の維持管理を行っています。

① 兵庫東流域下水汚泥処理

兵庫東スラッジセンター（兵庫東流域下水汚泥広域処理場）、送泥ポンプ場、送泥管等の維持管理を行い、尼崎市、西宮市、芦屋市の各公共下水道及び武庫川上流・下流流域下水道からの汚泥受け入れとともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

② 兵庫西流域下水汚泥処理

兵庫西スラッジセンター（兵庫西流域下水汚泥広域処理場）、送泥ポンプ場、送泥管等の維持管理を行い、姫路市、たつの市、太子町の各公共下水道及び揖保川流域下水道からの汚泥受け入れとともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

県内の流域下水処理場及び下水汚泥広域処理場



加古川上流浄化センター



武庫川上流浄化センター



加古川下流浄化センター



武庫川下流浄化センター



揖保川浄化センター



兵庫東スラッジセンター



兵庫西スラッジセンター

2 下水道の技術支援と普及促進

(1) 市町公共下水道事業への支援

県内の各市町下水道事業の計画、調査、設計及び施工監理を受託するほか、市町の水質・汚泥検査業務を受託し、共同化による市町支援を行っています。

下水道建設技術支援

下水道整備を行う上で、技術力を必要とする市町から公共下水道の計画、調査、設計、施工監理及び長寿命化計画の策定等を受託し、技術支援を行っています。



・工事名：中部第2汚水幹線布設その1工事
・委託者：市川町
・施工監理



・工事名：松帆・湊浄化センター土木建築工事
・委託者：南あわじ市
・設計・施工監理



・工事名：洲本環境センター長寿命化計画策定業務
・委託者：洲本市
・施工監理

平成22年度は、調査、設計をたつの市、南あわじ市、市川町、上郡町、新温泉町から、施工監理を淡路市、南あわじ市、市川町から受託し、実施します。

水質分析支援

市町の水質、汚泥検査業務を受託し、一括発注による共同水質検査を行うことにより、経費節減、維持管理業務の広域化、共同化等の支援を行っています。

平成22年度は、豊岡市、朝来市、播磨高原広域事務組合から受託し、実施します。



流域下水道管理事務所の水質検査状況

(2) 計画的・効率的維持管理への支援

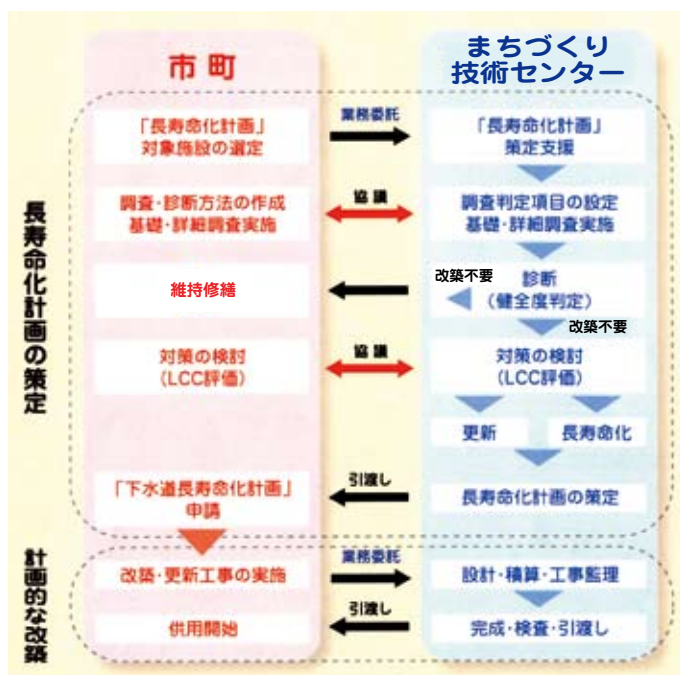
コスト縮減を目指し、「長寿命化計画の策定」と「計画的な改築」を支援します。

下水道の機械・電気設備の標準耐用年数は約15～30年で、その後は維持管理費の他に設備、施設を改築していく必要があります。

平成25年度以降の改築事業では、長寿命化計画で位置づけられていることが補助対象の条件になるため、下水道施設の改築・更新に国庫補助を導入するためには、「下水道長寿命化計画」を策定する必要があります。

当センターでは、長寿命化計画の策定から改築・更新工事の設計・積算・工事監理まで一貫して支援します。

「長寿命化計画の策定」と「計画的な改築」の支援フロー



(3) 排水設備工事責任技術者資格試験等の実施

県内各市町との協定に基づき、下水道排水設備工事責任技術者の技術力の平準化を図るため、県内統一の資格試験及び更新講習を実施します。

平成 22 年度の試験・講習会の実施日等は次のとおりです。

更 新 講 習

平成 22 年 7 月 8、13、15、21、23、29 日
県内各地域（神戸市、姫路市、加古川市、豊岡市、丹波市、洲本市）

受 験 講 習

平成 22 年 10 月 4、6、7、13 日
県内各地域（神戸市、姫路市、豊岡市、洲本市）

試 験

平成 22 年 11 月 7 日（日）13：30～15：30
流通科学大学（神戸市西区学園西町 3－1）

(4) 下水道知識の普及啓発

下水道の普及促進と流入水の安定化を図るため、浄化センター見学会を開催し、下水道の役割、効果等について説明しています。また、リーフレット等を作成し、地域住民、行政機関等へ配布するとともに、啓発ビデオの上映や貸出を行っています。

見学会の開催



広報活動の実施



平成 22 年度は、9 月に設定されている「下水道の日」に併せて、浄化センターの見学会を開催し、下水道処理施設の PR と下水道の役割、知識の普及に努めます。

建設・まちづくりの技術と 情報の拠点をめざして

社会基盤整備やまちづくりに対する社会的要請や技術者が直面する様々な課題に応えるため、識者と連携しながら調査研究を進めるとともに技術支援を行います。また、建設技術、まちづくり、土木施設等に関する情報やデータを一元管理し、分析・発信する機能を充実し、県内の社会基盤整備に関する技術情報拠点（データセンター）をめざします。

1 調査研究と技術開発の推進

(1) 調査研究等の推進

県の施策に関連する調査研究、新たな技術基準、マニュアル作成等のほか、委員会、協議会等の運営を含めた調査研究業務を支援しています。

『都市環境に配慮した道路舗装技術検討業務』等の調査研究に取り組んでいます。



都市環境に配慮した道路舗装技術検討業務（遮熱性舗装 すべり抵抗値測定状況）

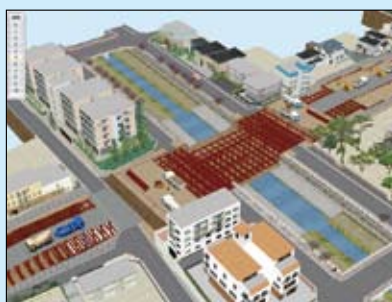
(2) CG 技術を利用した支援事業の推進

県・市町が実施する建設事業及びまちづくりにおける住民の参画と協働による活動を支援するために、CG 技術を利用して事業中や事業完成後のシミュレーションを行うことにより、行政と住民のコミュニケーションの橋渡しを行っています。

『CGハザードマップ作成業務』、『CGを活用した沿道景観検討業務』等に取り組んでいます。



CG を活用した沿道景観検討業務



●芦屋市 山手幹線
芦屋川アンダー部 施工検討

センターでは住民説明会への参加や、発注者への提案等、参加・提案型の CG 作成を行います。



●三田市相野駅周辺地区
将来の街並み検討

矢印キー等による簡単な操作で、3次元空間を自由に移動し、任意の視点からの景観をリアルタイムに表現します。

(3) 技術顧問制度

当センターが行う業務や、県・市町からの相談に対し、専門的な指導や助言を受けるため、大学をはじめ各界の識者をセンターの技術顧問として依頼しており、最近では、橋梁長寿命化修繕計画の策定やCG作成に係る夜景フォトモンタージュ等について指導、助言を受けています。

(4) アドバイス制度

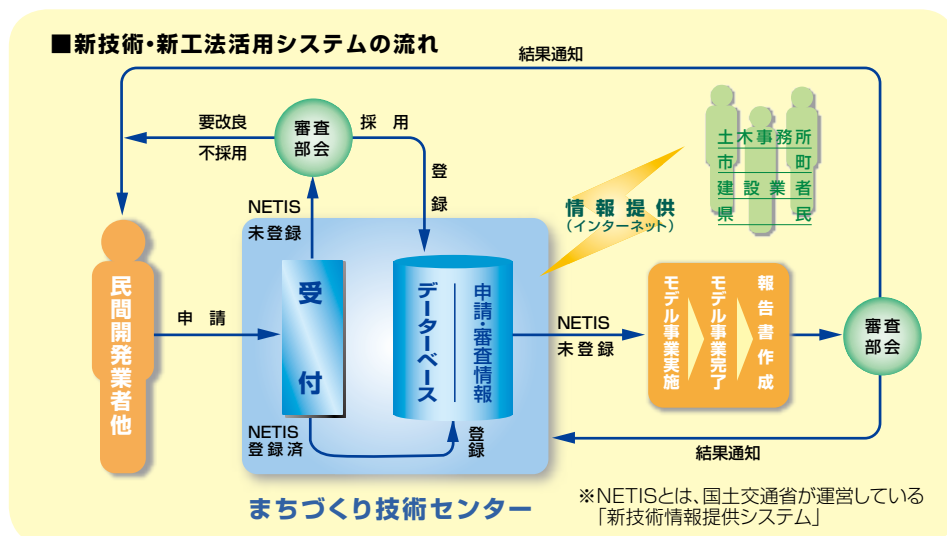
建設技術及びまちづくりに関する質問や相談に対し、当センターが有する技術力や情報、さらには技術顧問制度も活用しながら、適切な回答や助言を行っています。



2 技術情報の収集と提供の推進

(1) 建設技術情報の収集・発信

兵庫県県土整備部が施行している『新技術・新工法活用システム』、『県内生産品登録システム』（買兵庫キャンペーン）、『電子納品保管管理システム』における受付、登録、データベース運営を行い、当センターホームページや技術発表会等を通じて建設技術情報の発信を行っています。



(2) 社会基盤施設情報の管理・分析

土木施設のアセットマネジメントを支援する維持管理情報等登録・管理システムの運用を進め、簡易 GIS システムとの連携を図りながら施設情報の管理・分析を行います。

(3) 技術情報誌の発行

建設事業の紹介や建設技術及びまちづくりの情報を提供するセンター機関誌「CON-TECH ひょうご」を年2回発行し、県・市町の職員に配布しています。

とりわけ、地域住民主体の建設事業を紹介していくことに重点をおき、県・市町が行う新規事業の参考となることを目標としています。



買 兵庫キャンペーン フロー図

(4) 統合情報管理ネットワークシステムの整備

建設技術情報やセンター業務管理情報等を一元的に管理する統合情報管理ネットワークシステムを運用しています。

また、このシステムを活用し、兵庫県県土整備部（地方機関含む）が発行したパンフレット等について、当センターのホームページで検索や閲覧、ダウンロードできる広報ライブラリシステムを運営しています。



登録・管理システム概念図

(5) 技術図書の発行

建設技術及び公共工事の契約に関する図書を発行・販売しています。

また、これら発行図書の改訂情報は当センターのホームページに随時掲載しています。

●販売図書

土木請負工事必携	(平成 19 年 10 月)
土木工事共通仕様書	(平成 19 年 10 月)
土木工事施工管理基準	(平成 19 年 10 月)
小型構造物標準図集	(平成 13 年 1 月)
土木設計業務等委託必携(改訂版)	(平成 22 年度発行予定)
兵庫の地質	(平成 9 年 3 月)



養成をめざして たくましい技術者の

建設行政やまちづくり事業に携わる技術者に対し、今日的課題を的確に捉えた効果的な研修を企画、実施し、技術力の向上を図ります。

1 県・市町の技術力向上

(1) 階層別技術研修の実施

県・市町の建設技術職員の資質の向上を図るため、それぞれの階層に見合ったテーマで研修を実施します。

① 県土整備部技術職員（土木職）研修

採用職員研修	当年度の採用職員／3日 新任技術職員としての基礎知識の修得など
フォローアップ研修	前年度の採用職員／2日 測量～設計～積算の実務演習など
中級職員研修	採用後概ね6年以上（あるいは28才以上）を経過した職員／1日 福祉のまちづくりにおける専門知識の向上など
主任職員研修	当年度の主任昇格者／2日 課題解決能力を養う事例研究など
5級職員研修	5級職員／2日 施策課題に関するグループ討議など

② 県土整備部技術職員（建築・電気・機械職）研修

採用職員研修	当年度の採用職員／2日 技術職員に不可欠な基礎知識の修得など
中堅職員職員	主任あるいは採用から6年程度経過した職員／1日 福祉のまちづくりにおける専門知識の向上など
5級職員研修	5級の職にある技術職員／1日 重要施策の策定から実行までのプロセスの修得など

③ 市町建設事業担当職員研修

新任研修	実務経験が3年以内の職員／2日 積算、施工、監督など、職務上の基礎知識の修得など
災害復旧実務研修	実務経験が3年程度の職員／2日 測量～設計～積算の実務演習など
中堅研修	実務経験が10年程度の職員／1日 福祉のまちづくりにおける専門知識の向上など
部・課長研修	管理職等／1日 建設行政を巡る話題と情報の提供など



採用職員研修



災害復旧実務研修



中堅研修

(2) 専門分野別技術研修の実施

分野ごとの専門知識を修得できる技術講習会を、県・市町の実務担当職員を対象に実施します。

① 建設技術研修

〔講習会〕

災害復旧（Ⅰ） （県土整備部（土木職）対象）	土木施設の災害発生時の応急対応及び災害復旧事業等の採択に向けた調査・設計等、災害査定に必要な基本的知識
災害復旧（Ⅱ） （市町職員対象）	／各 1 日
コンクリート構造物の 施工と維持管理	コンクリート構造物の長寿命化を図るための施工と維持管理の基礎知識／ 1 日
市町道橋梁点検	橋梁の長寿命化修繕計画策定にむけた点検 2 回／各 1 日
河川	河川行政に求められる実務能力の向上／ 1 日
地盤調査（構造物）	構造物基礎の設計に必要な地盤調査の目的、得られるデータの解説、調査設計立案及び現場指導の基本的知識／ 1 日
鋼橋	鋼橋の施工、点検・診断、補強・補修／ 1 日
舗装	アスファルト舗装の構造設計、維持補修と工法等／ 1 日

〔演習コース〕

支持力計算	土質定数の考え方と支持力計算／ 1 日
道路計画	道路計画の手順と線形計画・縦横断計画／ 1 日
構造物設計	擁壁の安定計算と断面計算の手順 2 回／各 1 日
交差点計画	平面交差の計画と設計／ 1 日

〔CALS/EC 研修（県土整備部（土木職）対象）〕

電子施工管理コース （課長・実務担当者）	電子施工管理システムの概要、操作方法、操作演習 10 回／半日
電子納品コース	電子納品の概要、納品ソフトの操作演習 3 回／ 1 日
CAD 速習コース	CAD 操作演習初級・中級編 6 回／ 1 日
CAD エキスパートコース	CAD 操作演習応用編 6 回／ 1 日

② まちづくり担当職員研修

土地区画整理研修	土地区画整理事業の基礎知識と実務能力向上など／ 2 日
まちづくり研修	まちづくりに関する知識の向上など／ 1 日

(3) 現場研修の実施

県内の先進的な建設事業や区画整理事業に関する取り組みを学ぶ場として、県・市町の実務担当職員を対象に現場研修会を実施します。

県内現場研修会	2 回／各 1 日
---------	-----------



コンクリート構造物の施工と維持管理研修



市町道橋梁点検研修



交差点計画研修



CALS/EC 研修



土地区画整理研修



県内現場研修

2 センターの技術力向上

派遣研修・職場内研修の実施、資格取得の推進

専門的な知識と高度な技術力を有するセンターであり続けるため、(財)全国建設研修センターなどが主催する各種研修会への参加や技術研究発表会など内部研修の充実を図り、職員の技術力向上を推進します。

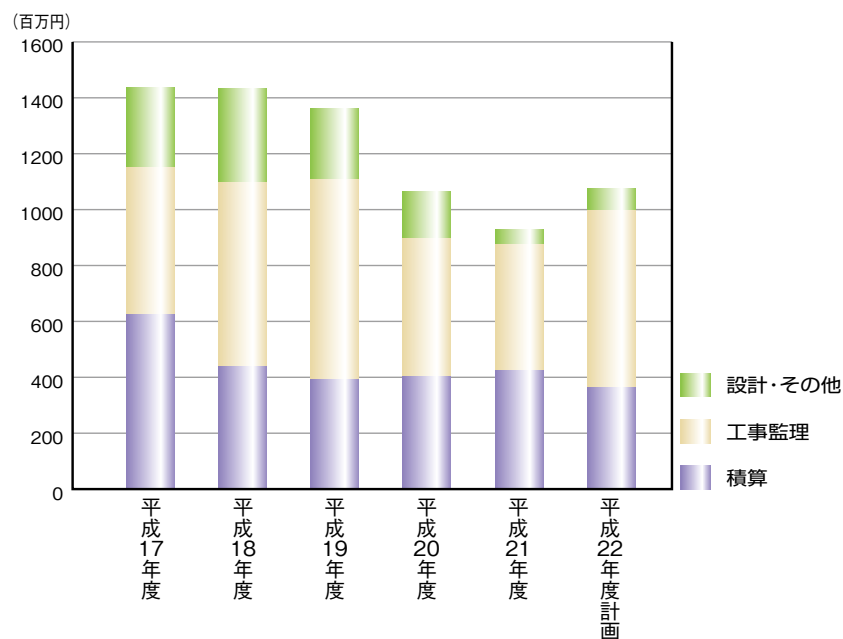
また、建設事業やまちづくり事業をトータルに支援していくため、設計、工事監理、維持補修等に係る各種の資格取得を積極的に推進し支援します。

事業実績と計画

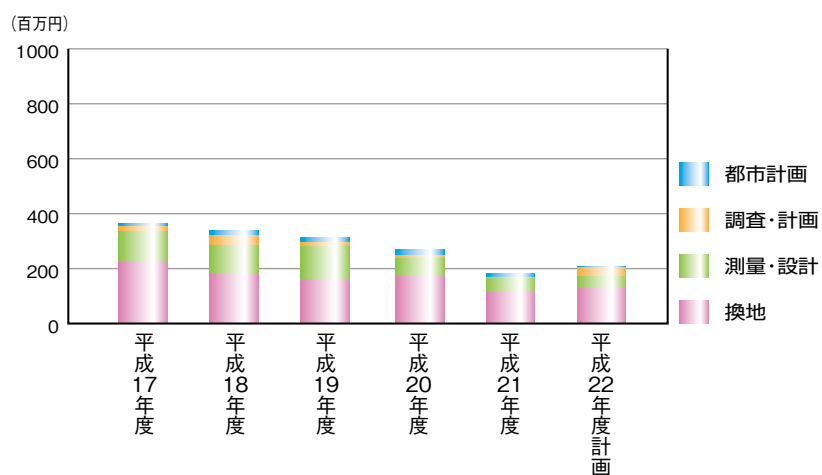
まちづくり技術センター事業のあらまし。受託事業の収入額、事業内訳、及び研修の開催回数と参加人数。

1 受託事業の実績

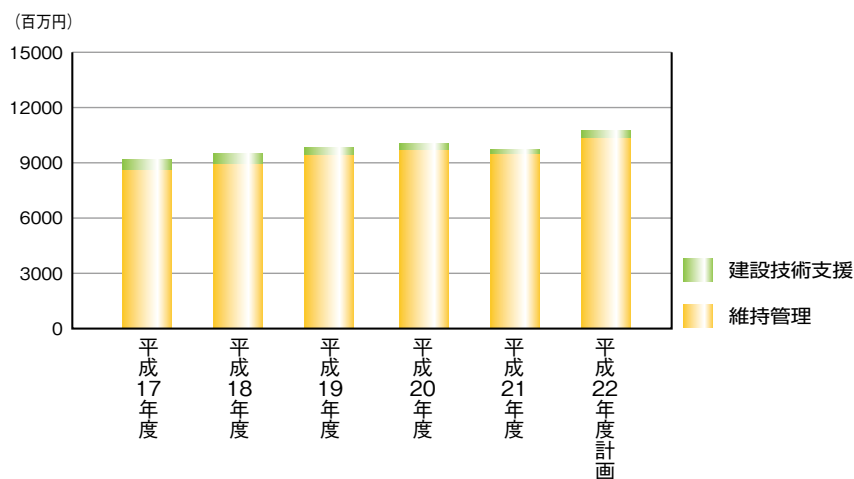
(1) 建設事業



(2) 土地区画整理事業等



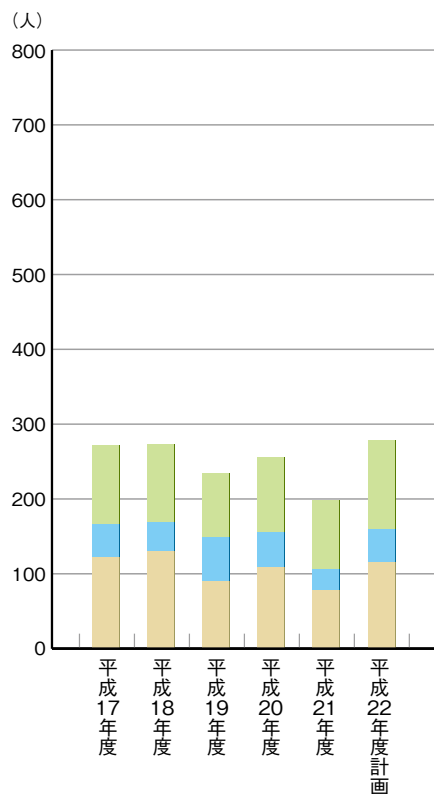
(3) 下水道事業等



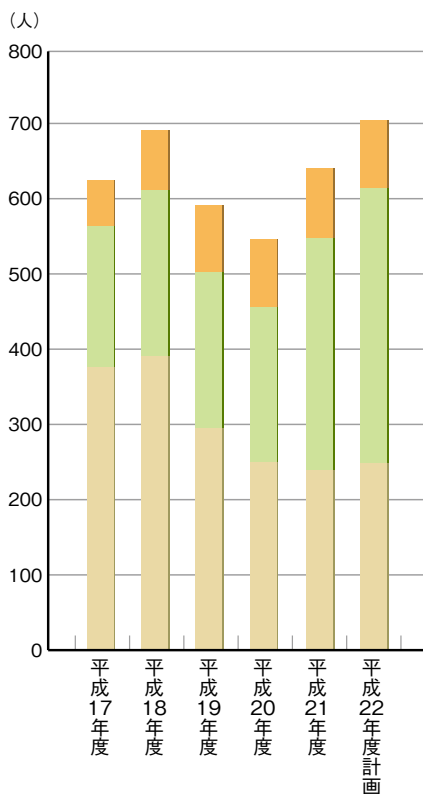
2 研修の開催回数と参加人数

県(土木職)
 県(建築職等)
 市町(建設)
 まちづくり

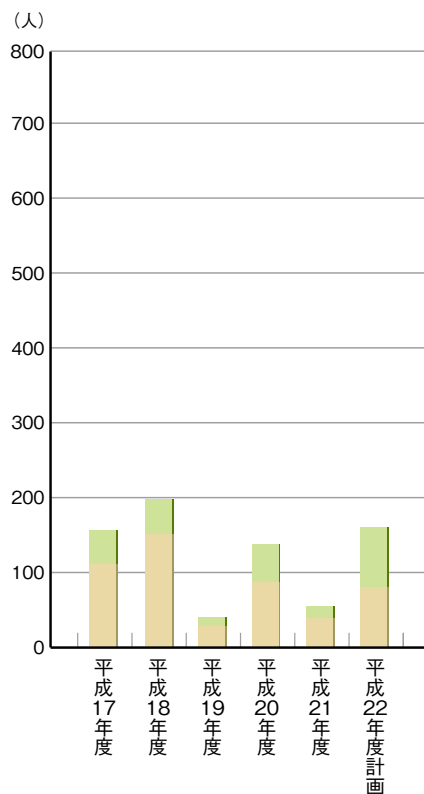
(1) 階層別技術研修



(2) 専門分野別研修



(3) 現場研修



(4) CALS / EC 研修

名 称	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
電子施工管理コース (課長)	24人 / 2回	39人 / 4回	14人 / 2回	17人 / 2回	16人 / 3回	—
電子施工管理コース (実務担当者)	111人 / 6回	195人 / 14回	85人 / 8回	71人 / 6回	64人 / 7回	—
電子施工管理コース (課長・実務担当者)	—	—	—	—	—	100人 / 10回
電子施工管理コース (施工業者)	104人 / 7回	492人 / 27回	409人 / 24回	330人 / 24回	374人 / 30回	—
電子納品コース	124人 / 8回	140人 / 13回	75人 / 6回	57人 / 5回	39人 / 4回	60人 / 3回
CAD 入門コース	113人 / 7回	—	—	—	—	—
CAD 初級コース	97人 / 7回	86人 / 6回	99人 / 6回	93人 / 7回	7人 / 1回	—
CAD 中級コース	76人 / 5回	48人 / 4回	74人 / 7回	69人 / 6回	—	—
CAD 速習コース	—	—	—	—	96人 / 8回	120人 / 6回
CAD エキスパートコース	—	—	—	—	35人 / 3回	120人 / 6回

(5) 下水道排水設備工事責任技術者試験及び更新講習実績

名 称	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
更新講習	779人	599人	292人	319人	5336人	約950人
責任技術者受験者数	455人	348人	411人	263人	291人	約300人
責任技術者合格者数	137人	178人	174人	125人	214人	—
合格率	30.1%	51.1%	42.3%	47.5%	73.5%	—



財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

Hyogo Construction Technology Center for Regional Development

総務部 企画部 建設技術部 下水道事業部 都市整備部

〒650-0023

神戸市中央区栄町通 6-1-21 (神明ビル 5・6 F)

TEL 078-367-1230(代) FAX 078-367-1232

E-mail info@hyogo-ctc.or.jp

URL http://www.hyogo-ctc.or.jp

阪神事務所

〒662-0911

西宮市池田町 9-7-216 (フレンテ西館 2 F)

TEL 0798-34-2275 FAX 0798-34-2285

播磨事務所

〒670-0965

姫路市東延末 5-83 (播磨漁友会館 3 F)

TEL 079-281-3377 FAX 079-281-3388

但馬事務所

〒668-0055

豊岡市昭和町 2-56 (サカモトビル 2 F)

TEL 0796-29-3031 FAX 0796-29-3073

丹波事務所

〒669-3309

丹波市柏原町柏原上中町東側280-1

(N T T 丹波柏原別館 1 F)

TEL 0795-73-3750 FAX 0795-73-3660

淡路事務所

〒656-2131

淡路市志筑字新島 5-1

(兵庫県企業庁 阪神・淡路臨海建設事務所内)

TEL 0799-60-1950 FAX 0799-60-1960

武庫川流域下水道管理事務所

武庫川下流浄化センター

〒660-0087

尼崎市平左衛門町18-4

TEL 06-6419-4231 FAX 06-6419-3379

兵庫東スラッジセンター

〒660-0087

尼崎市平左衛門町65-10

TEL 06-6411-8356 FAX 06-6414-2225

武庫川上流浄化センター

〒651-1503

神戸市北区道場町生野字飛瀬

TEL 078-985-6621 FAX 078-985-6623

加古川流域下水道管理事務所

加古川下流浄化センター

〒675-0025

加古川市尾上町養田1687-2

TEL 079-424-1313 FAX 079-424-1314

加古川上流浄化センター

〒675-1345

小野市泰田町398-2

TEL 0794-63-5554 FAX 0794-63-7540

揖保川流域下水道管理事務所

揖保川浄化センター

〒671-1241

姫路市網干区興浜字第一味岡2093

TEL 079-274-2922 FAX 079-274-2925

兵庫西スラッジセンター

〒671-1236

姫路市網干区網干浜240-2

TEL 079-272-1637 FAX 079-271-2114

